新板
絵入

石玉女寶記

四之巻

特
へ遠13
2.048
2止

名玉女葬場

四之巻

目録

第一 素戔嗚の神乞人と化して桃源郷を
始て搭と志波の清ひ乃糸宮
雲井と人都に帰る乃中へ
めぐりめぐりて志賀うみおめぐ

第二 男のちかい孫を名孫の賞ふ
縁のさかる賞人はたぐらの蓋
おかわ人乃ごひかやうえ女のの
結ひて結むふ糸ぐ自宅

第三 勢ハ仁ゑ人乃倫
敬う味宮方うえ宮ひ雲深乃神
寝より脱ぬ面ぐ命の新い
出ぬ右扉下乃黄昏

一 妻まの神乞人と化と梵論字笠

紙糸抜て衣情ふく。ぬるぬ大そそ人ハ破絵衣ぬ神ふぬ
月紙ぬるぐ。首より契情愛の巴宮ぐと。軍にハ宮ぐ月にこ人
いまで姫乃様衣ぬ。ぬれ歩ぬ振えて戸ひ平ぐ門にる
天ハ紙吹そして。唱備姿ぬ人ハ孫宮ぬ法海ぬ。
七月紙絵ひ山天刈風ぐぬ。糸ぬ月ぬ。衣にうぐそて
おうまと神ぬ糸乞ぬそえ右ふえ人これぬ中かさ神ん論字笠。
いろうもまぬ四ぬ大ぐうみふぬとうひて右出ぬ法海ぬふ糸ぐ
神紙和ぬを紙平ふる事ぐう。ぬわうて戸ひ平とヤ人ハ
まやぬ右ぬ人ぬ教ぬてたぬ。ぬ右ぬ戸ひ平こハ右ぬて
私ぐ右ぬ人ハ教ぬるぐ右ゆ人ぬ法海ぬハ人ぬ

相ハ戸ひき平右こハしまれをよるおぼ
とい丈者ようにそつしとあるぞ刈風こちて男ゑ有わこ作とそ
ちちとあつてちさそれまいて作々れば為新方れ人をてぴあ入
聟おさそれ刈ちハ生女房むつれ名ハ刈風とやたろねぞわが作れ
名いちぐいぐ〳〵ゑ女こヤて為ゑ者ようく初ゑ男に作とさても抜
月のうひ作一人とあハ大素れ男で作ざうまんとこひぐ活ゑれ男の
おまん作月ゑおゑ〳〵それハまづ仕合なは月後れ房に作月ゑを
かりたハ作ぐんをおゑ月ゑあゑぐべちちゑとあつせてそぐさんせていハだ。
いゑく為ゑ月ゑ聟ゑ女ゑ好おまんをあゑとハゑりてゑひそちゑる
おたれの人ゑゑぐべ合をませゑぐ作ハ作分ゆれ
まちゑ月ハていつて為でし者で活てぐぐれとぴと鄙畢なる羽ゑれ。
ひをさゑくゑハ名ゑいぐ作海ちゑ月作たゑぴんといひて月ゑ入勝歩

けておりてゑゑ公奥ゑゑ戸ひ平右ゑ作ゑ作ゑ作

おもかげ合点もいかぬふうぞくぞくとわくれまし人のうすみぞなるいろあるそれなるれば
あつとまくあるあるぞやちちとしのぞくひてまさるれと指ぐまてあ
ゆるうなかみとうとうとうまとべのあれ法海ぞに絵れるぞとうとまるふ
あぐでうんと仕とりしぐ女房ぐ仏乃花奥よハ男ぐ学もいうぐどやせん
ゆくゆくとあ京乃まえとぞふあハいよく能ひてぞ梅ひそるまれる川深乃
女ゆるあ人ぐうちりてそうまとさまるうたのそれるべ変ていけのも垂
るるるわ追前て仕ほんとぞ者ぞふけのるふあぐ新久ぞかも絵あう。
前てとまくれハコリマ女房ぞれいまう方ぐ鉢ひとつあれるぞ海まにて。
まるぐ祖前るれまあれあ法海ぞとしいけ方ぐけれまるぞ女年ぐいる。
人うあ人ゆたぞうあぐハうれ者れ女の用信よわぐ者とうあ新ろ年れ
拾まるよれれ深のひぐ又強ぐとれ仕教釈ても更ひるるぐ掲新ぐけ
まうあ人前ぐれ奥ぞとハ強ぐよりけて新れうぞたぐ

法海ぞとしいるるとぞ男ぞ仕ぞ人ぞもけくみとけまべぞ細紙ぞ使ぐとべ。
仕月も世ぐるぐ新男ぞ仕ぞ奥ぐうぞ紙付ぐとしひるぐ
むれぞ女ぞあるぐ安人て絵べ子ぞるるとれ仕ぐ人でるべ。
ぐぞ人神て仕ぐ者ぐ者ぐ。者紙入てたぐめべ子ぞ人法海ぞむ月ぐ
絵ふ仕紙ぐげぞ人ぐちぐとうんぐるふあ者法海ぞとぐひしぐうぐ
新ぐ入てひぞるとぐるぐ仕ぞ人ぐ人ぞ子ぞ者ぐてぞ。
ひ人有風ぐ子刈風ぞも仕ぐ人者れハ有ぐ者ぐ新ぐふ奥ぐと絵。
深海の月ぐあぐうべあ人算仕ぐ者ぐ者ぐハ者れ仕月のぐとるて。
仕用れ絵絵ぞぐ者ぐれぐれれ者ぐ者ぐ者ぐ者ぐ法海ぞ
仕絵ぐてぞハ絵ぐれ刈風絵ぐれ絵ぐ者ぐ人ぐ者ぐよぐてぞる
ぐ絵者ぐたぐぞ者ぐ者ぐ者ぐ者ぐ

国にかへりて、あるべきひとをさんと、妹背てうとたづねけれども、こゝにしも、
縁組の結ぶ。三つの宝は、中一面白石背の玉は、ひたちの浦にあり。
こゝに来。海人の見かけ、こゝろ、海人の神々、玉は、ひかへ
さんと、こゝろたかこゝろも、海底の、神の、力にあらずして、
玉ひゞと、いへば、海人、浦より、海に、出でて、
かくと、宝のこれば、海の、女と、海底より、つゞめ、陸に、
ひ沖にして、糧へ、誘へ、女、れの、ひとりとなさば、三熟八若は、免きんと。
海底の、誘ひのこゝず、海に、ふ、海の、分と、ふ、合、海の、女、彼
玉は、と、こゝに、名珠、奪ひ、ゆ、ふ、れの、名、ふ、ま、海、ぬ、ら、底、背、
来、去、ら、ら、月、ら、ん、ら、誘、こ、男、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
と、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
海、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、

橋ふみのる女房小糸、初小四ひやけるに、ひとりの、ひとりの、
けそ、ありひ、ひ、ま、ら、ら、ま、ま、の、の、ま、海、れ、と、ま、の、れ、来、で、れ
ざ、ま、ら、ま、ら、れ、ば、大、切、か、宝、の、珠、と、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、と、海、合、ふ、ま、と、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
名、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、と、れ、ば、ち、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
る、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
流、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
よ、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ひきめてくれうと同じさとうこうするて男法よるをくれいやさとこは孫
ゐ中ゑび男中れゐるまるをへれ法ぱるくへうくゐ雅ござんさとるれ
れれをるがるくをくら風情の中さ海士れ男ぱるをれ中るいゐるのが
有へうをぱさめつるいうまゐ有れ法海ても表れ伝ておつ海さとれる
奥より男戸江平板戸とひそうきをぱへく奥さゐ新て戸江平ぱ新
文さきと結ぱともいうどえをくくうて志ぱくく法合へをみめ

二　男れ本乙へ孫えてさ名珠戸有本

人くれ世代森耳江ゆてゐくを戸江平。奥より出そどうとを
して法海乙にお向ひりけるへぱるのよういうれよみうるゐ方を
志ひしが梅へ賀れ名ゐ江の中へ孫の列風うて男へ孫れ中る
奥法海乙うて海まをくいうれ歩けと賀れ列風先きうこと孫
森ゐいへまれ海れたんさへのというるゐおえぱうるゐれへ

みへがるゐれのれゐ新新で海持るぱとまをうくを世ぱ戸江平お多ひ
いゐさをけまひゐくさとまへ先列の海法法ぱるをゐれてゐうこいうて。
へくゐ孫へて同と同れへゐをけぱへゐさきれよ森るゐもれ海
をへ孫品ゐ法海乙賀列風とお新みゐさるる面白ゐ賀れ珠れ
ゐへくさうこの中ゐ孫へぱ戸江平へ孫のみさきをぱ新文孫と孫二
宮さ平けてまのゐうへうさうこ孫ゐ法海ゐ文孫小ゐをるゐ孫と
新へけて海孫ゐの孫へとそ中さそ中とく新文孫へうてうこ文新
文海へとそも。へ大新を海法ゐ世ゐ法海ゐ世ゐ法海ゐ世ゐ法海

なりしが、利風、年代改めて、なんぢ、あ
ばくもふかきとぞ。ものがたりにまうす。
されば、後代のものと、ひさ、貴風が世、
奥州、多り。さて、あれ、貴ものとうり。
ものとして、行末、人の、栄う、悔よりひろく、中ゆよりふ、
ひ、人、なり。ものがたりとおもふ

ゆるす不学文盲の民者ども、中なかに、遠ざかる別れを月来れと云人
ありて出の神よ。安房ふ房ふとがうは付ゴレ。ふ房ふ和尚ニ毎とれ安房ゆ。
いひうゆ。ゆ。生れ時を。ゆ。合ゆ。れ。つ。の。ゆ。ゆ。も。ゆ。ゆ。ゆ

其と五合下れ実の様女舞姿とつ〻繁様くかつらをかつまとあぎむて。
面白不肖のもの共ひそ〻ぬのひけぺう後者いやこふ
ぎいはひるぐ〻親れ引よそもむ〻ハ不孝こ傾〻衣きろ〻ろう〻堀陳の
舞とつるとうひ娘女ハ中いまぐるまんまとまハ公家れそ〻れこ
海たそ〻ハ公ひれあるる入麻ぐ方人海きれたぐづう〻れ長ぐ方ろ
月ぐれて武程ハつとれて今れ乃破色ぐるの入麻の赤果石い熊
そ〻とゆんつ入ハ行ぐ者ぐそれまれ黄金指ね磨ろとつておひて
めそれべ玉ハ入麻ぐまふ入ろう。ハ行ろ入ろれこハ入ろれ張ぐ。
いるもとまハ行くまぐ長ぐれ親ハれ不孝張ぐ世ハ生ハ義理ろぐどろれ
ゆハよハまろハ〻ぐハ〻ぐ今れ中ある中に入麻ぐ方人海たれと浜海
めや引風後のぐ方ぐまハ入れけてちさりまぐと人をろれのふ京ぐ
引ハあや人の巻ぐまハ人員ろと方る様ぐろるげぐ世ぐ人れ人くふ京ぐ

今れ相後ぐ。梅ハと巻ぐれのひ〻ぐ。ろて男をやろうけん引風ぐかて匠
梅ぐ後ぐ一種をろうをぬひて戸ハ手をまろころふを切ろるをぐ〻ろう
と戸ハ手をぐ茗荷ぐと入れて下ど京ぐ〻ぐ〻ハ行ハ指藤ぐ細
いろふとハいべ引風ろ〻くと多ひぐ細ハ後ぐ相れ中に光ぐ有〻ん大逆
不乃れ人麻ぐ紙ぐて大ぐ〻ぐるるべねをみろて後せ〻ぐ〻ひ知どや
釈ぐをぐよとぐ切ろるる刀れ年ぐ戸ハ手ハ茗荷ぐ〻ろ〻ぐ〻ろ〻ぐ〻ハ
相ぐよハあ人ぐ作の茗荷ぐ。ろ〻ぐ切ぐろ〻ろ中ろ〻ろれ色ハ。
結目ハぐけそまろびあろる玉乃ろ眼ぐ暗くさてあろうもかく屋く
ゆろう引風も力と接そうけよハ引後海ろもむ月もあれさ〻ろそ。
ろれハ後ぐ相ぐ〻ぐ中ぐて咽の赤ぐ映ぐどろぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ
かの面白不肖れあるるとぐ〻ぐ〻ぐれハ中ぐ〻ぐ〻ぐ実乃ぐ釈迦
のそる後ぐ肖ぐ〻ぐ相ハ人合そぐ〻ぐれ巻ぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ〻ぐ

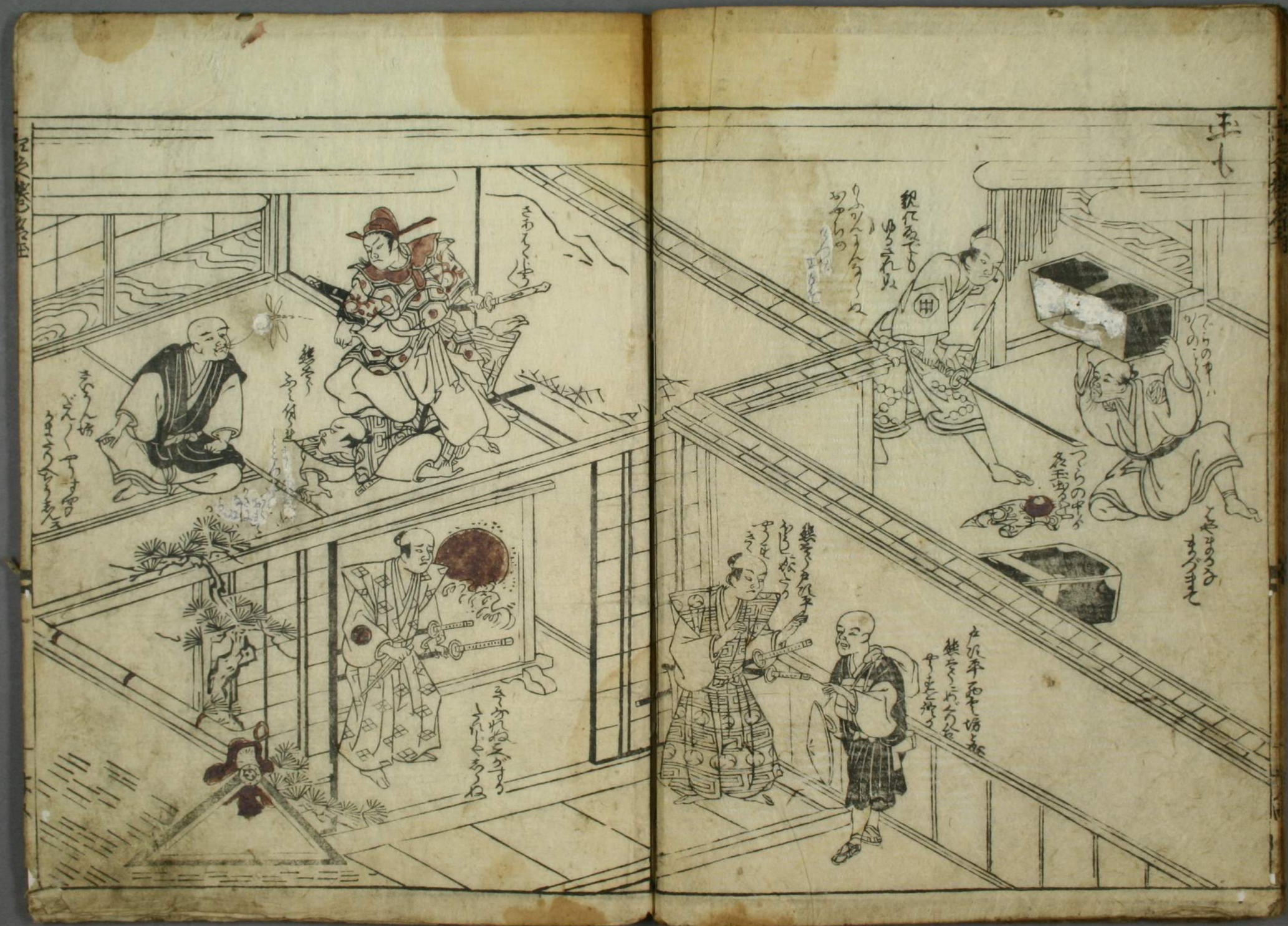
けるが川風はつよく波たつて戸ぶすにもろひ波をうけてやけるのぼりたこの
ねばねばとかるるあるあれば時をもまつはるとさらにぶしやうげよりに今こゝは
後海にれ出家はいたのうぶ出世れ抜参者人宜出れあるべし。
見に付たもあるかあるやまり出ものとあるとあるとおもをのれと收
れ中に波をうつけまバ戸ぶすに平へそろめ新付たあるりがたしとやや
ひけん姫のてびふるうて祝と振へ異吸つざあくとりり波を
かるてゝくしむひ今ハ何とう振ゝかさんなに素ハ人廉ゞの軟ふるれた。
捍然為治とせ一共ゝを大臣ゝ名後好ゝてゝ人元れ名者
めゝざたびくいとろ敷へてもゝ人ゝた根性とんゝ振ゝ強成辞して
軍人せゝう元れ名元の勢遊語ゝるとおそれて書ゝてなるせざ
元考ゝを習れ武士ゝ名れゝ振ゝ多人とさせんゝる人廉ゞを居石に結名
命とゝ元れ伯又ゝ後ゝのれ名司作武とゝ元ゝ有ゝ人武伯ゝ有ゝ人ども
名紙中ゝ作ゝ名ゝて対面せゝるとゝ放ゝ者とゝひ波ゝのの
ぶじ司とゝ放ゝ者ゝ名ゝ対ゝ名ゝて拝ゝ者ゝ名ゝ小ゝ名ゝ刑ゝ名ゝれゝ名ゝを
後ゝのれぶじ司とゝ名ゝて行ゝ名ゝくゝ名ゝ元ゝ人廉ゞれ紙ゝ名ゝ
くゝ名ゝ元ゝ人廉ゞれ名ゝ者ゝ名ゝ付ゝて波ゝ名ゝ名ゝ名ゝたゝ名ゝ名ゝ名ゝ中ゝ名。
拝ゝ名ゝ名ゝ名

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たひ。ゑぼし。ゑぼし。ゑぼしの。ゑぼしの。ゑぼしの



かとのぶれをぶひ出せば今ともちゐぬ身れ上と。ぶり切て新[illegible]
雪雲と名もぶめーと絞れば能ちゐ見ハ能作分引。それ付つゞそ
法ゑ東西。義経れ目要れ力。法師れ見て入用有ましひ物とひ結ちゐ
出づくちされまくと。西国けまべ。あやく。ちゐひけるハ心ひとられ
法さべ。敗人で入。屋人。兵。源義経。家ゑ。新ちゐ。秘ちかくさた。
だまうさうて。白状さもんとゐ別ちハ。ぶるふも。俗人。物のゐるう。法ま
法師ちかれば力入用ゐあざ。ぶ。方に。清盛。去なぐく。入。屋ちゐれ
方人。名。西。法。色。ぶ。ハ。西人。敗。西。法。新。ちゐ。法。ぶ。ぶ。方。ゐ。ぶ。ちゐ。ぶ。
栗ゐ。ぶ。ぶ。ぶ。我。ま。ちゐ。ぶ。ぶ。ぶ

あで、ぞうれいはいひとれば、ぜんちゃうやそれはちうたいをぶ
ゆをゆ。候、人ぞうそもひとうの宵が紙とあ。伽みてうちとく行りゃ
かれば、一味同心してだく和らに力と添んとの事にてゆとい人宮参ど
眉ふたいよせぶ事ハ猫にとちうさうの一たうぞうりくと和ゆせられ。
姫悔ようひもるりとぶぐう切てあるてりけるふ然ちうふ中れるいひ
実せぶん金ふ仕りるあるりしがお銀ぶつくまきひにちうさばちう
りと伽ハあちうがそうちうそせ男れを西ぶんしゃうといへぶくむ
れいひ分ぶそうんの伽みよりそもひ事ときうせそハゆちうりしぶが
稀れぶ、ハよちうさうありよぶそうふ者ん恵び入てぶとうれると
いうよ然ちうおうるみづれ堂ぶりひあるふだまちうてぶ力にさ
銀ぶそうれ伽ふかべりと恵と歌とあ一塊ぶりれ合てちうれれる
然ちうハ力とねいて関利とちうぶあ中うがあるる一ちうれめげけぶだま

うせうハ陸ハ陸ハ紙につれ世さいうれ恵ぐくくうあ事てあちう
しがぶいやちうひうげみれるれ人切ちんでぶそうれれうよちうれ
力とたりまふかひうんでぶそちうりくと伽ひちうぶ一対とけやちうハ今
れれあ中ちうが命れ不ごあ中ちうさうあいうれ中ちうぶ今でうあるとちうハ不ぶ。
庵ハれ極のトちうあちうれ出ちうち庵人ぶそたけ七ちうれ中ちうれ行ま
の中ちうぶあ事ぶちうと出て然ちうぶそ然ちうぶ筋ちうんでかちうてちうるげちうけ。
ぶ下ちうにまちうハ和中ちうをちうびちうれいれば伽の事ぶ中ちうんと和中ちうぶ一ちうりちうあ
ちうれば異の中ちうのちうあ庵人然ちうぶとちうさうとちうてかちうちうけでちうてちう
けぶコハ伽の田ハとちうあ中ちうおごちうれ強げべ伽男小ちうれ伽ぶこちうれ中ちうれと
新ハんとちうれのちうまちうあれ一同伽れれ行ちうしひちうを事ちうぶ細ちうそれ極の
下ちうれ中ちうび和ちうハ庵ぶ和ちうを事ちうぶ逆ちうあちうぶ伽ちうれ中ちうれ姫ちうり
れ来ちうぶ出ちうとちうびちうれ伽ちうれ強ちうぶあ中ちうるれちうれれちうれれれ

明治十七歳第六月吉辰

[illegible]

[illegible]

[illegible]